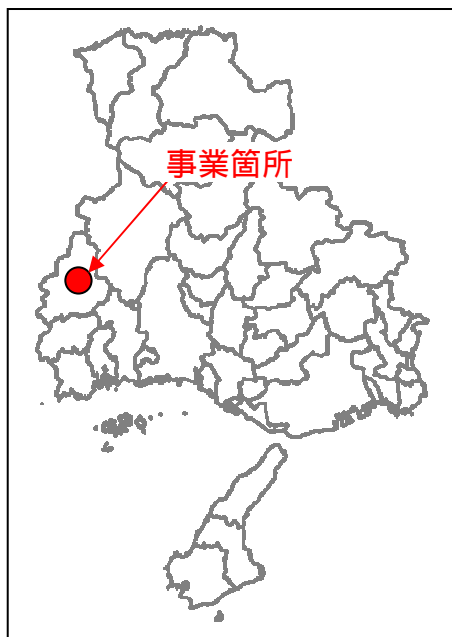


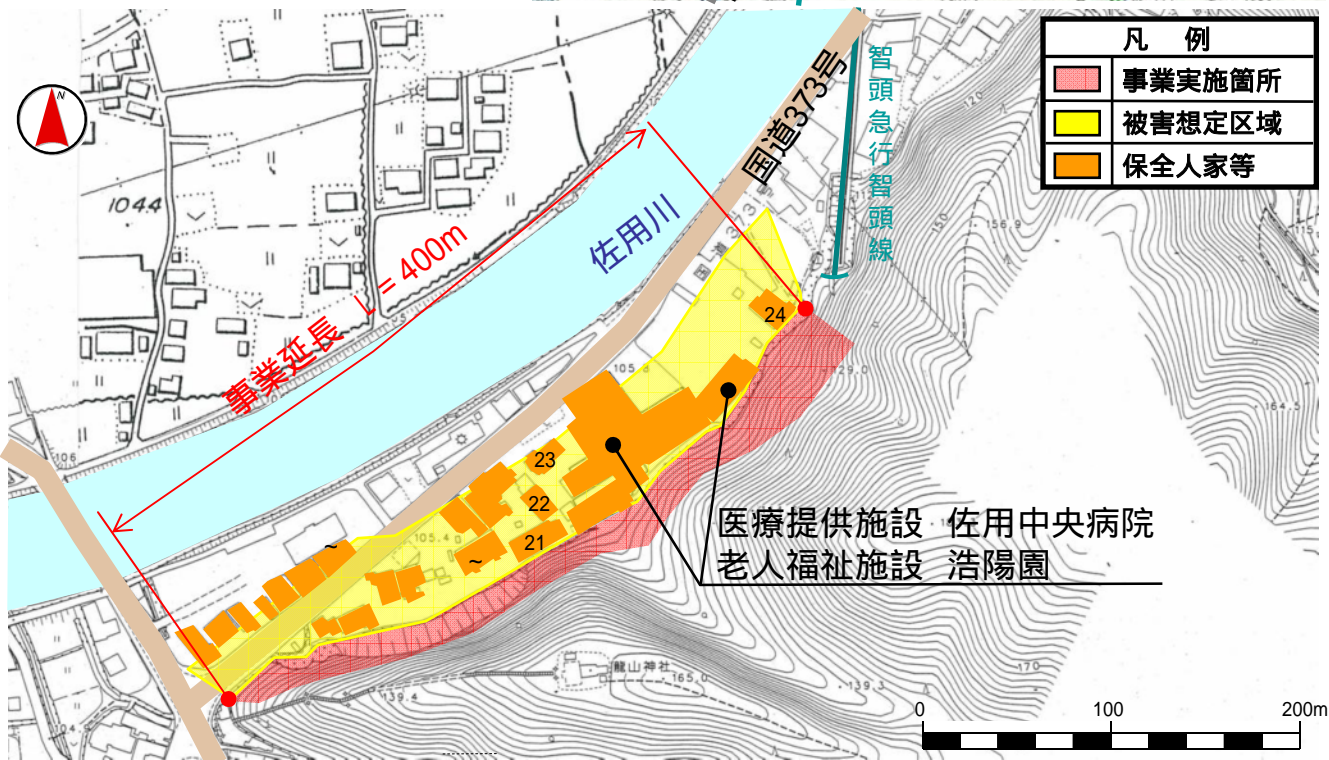
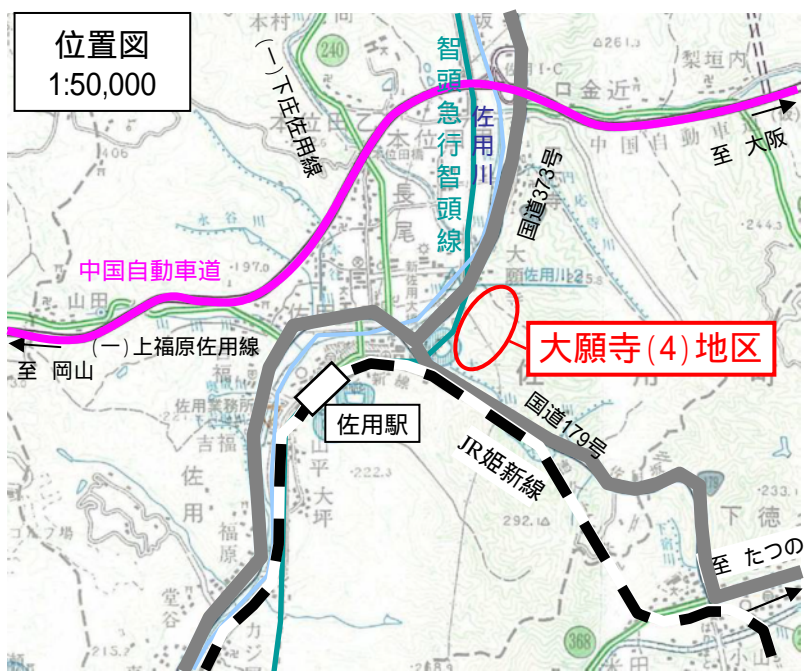
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 (木本 和彦)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

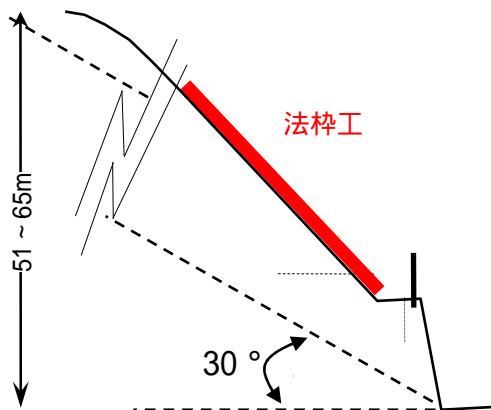
事業種目	急傾斜地崩壊	事業名	事業区間	総事業費	2.0 億円
	対策事業	急傾斜地崩壊対策 だいがんじ 大願寺(4)地区	佐用町 さようだいがんじ 佐用大願寺	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
佐用町佐用				H24	H26
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は近年に斜面上部より小規模ではあるが、落石が発生しており、現在も危険な状態である。斜面下部には人家、佐用中央病院、老人福祉施設（災害時要援護者関連施設）、国道があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 法枠工 L = 400m 負担割合 国 : 47.5% 県 : 47.5% 地元 : 5.0%		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔地区の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 姫新線佐用駅から北東約800mに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。 ・ 斜面の下部は既存の擁壁により対策されているが、近年落石が発生しており危険な状態。 				
〔保全対象等の状況〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延長400m、幅50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 ・ <u>人家24戸、医療提供施設（災害時要援護者関連施設）、老人福祉施設（災害時要援護者関連施設）、国道373号(40m)（緊急輸送路）。</u> 				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成19年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 				
〔事業執行環境〕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の主旨について、十分な理解を得られることから工事着手が見込め、円滑な事業の執行が可能である。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斜面の改変を最小限にとどめ、既存木を可能な限り残し、周辺環境との調和に努める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全対象には、災害時要援護者施設である佐用中央病院、浩陽園（老人福祉施設）、人家24戸、および緊急輸送路である国道373号があり、近年落石が発生していることから、早期着手に対する地元要望が強い。 <p>以上より、H24年度に事業着手し、早急な対策が必要である。</p>				



位置図
1:50,000



横断図 S = 1:500



箇所名	大願寺(4)地区
-----	----------